

9月号

ニュースレター

あすか

ASUKA

通算294号

2017年9月10日

おかげさまで あすか療養センターは9周年！

い

わ

や

祭

2017



8月27日(日)

乾杯の音頭で幕が開けた式典は、【いわやガール】による美空ひばりの『お祭りマンボ』や【北島三郎 with 大道芸人】の余興で大いに盛り上がりました。手拍子をしたり、一緒に踊っていただいたりと、みなさんとても楽しんでくださいました。

午後からは各階でお化け屋敷や金魚すくいなど、様々な屋台が出され、ご家族にも楽しんでいただきました。

「どこの階から回ろうか?」「2階のお化け屋敷がおもしろそうじゃね♪」「1階のかき氷を食べに行こうよ!」など、話が弾みます。金魚すくいに夢中になったり、当たった景品をお互いに見せ合ったりと、まるで子どもの頃にタイムスリップしたよう…。楽しいお祭りになりましたね。来年も楽しみにしててください。



大北先生のご挨拶



いわやの美女選抜!いわやガールの登場!



待ってました!大御所・北島三郎!?



お面が良く似合ってる◎



見て!上手にすくえたでしょ♪



屋台のケーキも最高よ!



お化け屋敷のお化けが脱走!



医療法人あすかの経営理念 『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。

【目次】

- 1. いわや祭2017 1
- 2. 健康だより 2
- 3. 事業所だより(みどりい、しゅりあ) 3
- 事業所だより(まやる、ショート大町) 4
- 事業所だより(つどい) 5
- 4. おもしろきかな我が人生①
 ～作家・エッセイスト 阿川佐和子氏～ 6
- 5. おもしろきかな我が人生② 7
- 6. 作品紹介(デイ大町) 7
- 7. わたしの好きなもの 第41回 8

みどりの夏の大運動会!

8月23日(水) ショートみどりの



ショートステイみどりででは、暑い、熱い夏の運動会...とはいきま
せんでしたが、《のんびり》《ゆっく
り》、みんなが協力して《楽しかつ
た》運動会を開催いたしました。

赤組・青組と分かれリレー、玉入
れ、ボール渡し、お菓子喰い競争と
チームで戦いました。

ゲームで勝った時に思わず出る
歓喜の声や、バトンを渡す時の隣
の方への思いやりの声、バンザイの
声などいろんな声が響き渡る時
間となりました。

笑いあり、失敗あり、引き分け判
定ありで良い汗をかきました。皆様
めいっばい笑い、体を動かした楽
しい一日でした!
(古川 千恵)



がんばるぞ!! おおおお〜!!

菓子喰い競争!! うまく取れんの〜



やっぱり運動は楽しいね♪



せっせとバトン運びます!!

夏祭り特集①



8月22日(火) しゅりあちよ〜く

ワツシヨイワツシヨイ! そーれそ
れそれお祭りだー!

美空ひばりさんの『お祭りマン
ボ』の大合唱で始まったしゅりあ
ちよ〜く夏祭り。突然現れた女装
をした浴衣姿の男性職員! 大爆笑
と拍手を背にあれよあれよとお化
粧が始まり、振り向いたお顔は...
またまた会場中大笑いに包まれま
した。

すると、どじょうすくいが始ま
り見事にウナギを捕まえさらにさ
らに会場で盛り上げてくれまし
た。

そして、日々の皆様とお話の
中で「昔、一銭洋食(はしまき)をよ
く食べたものよ!」とのことで、皆
様と一緒に一銭洋食に挑戦!

ホットプレートで生地を伸ばし
割り箸でクルクルと...「もっちり
しておいしい」「うまくできたね」
「懐かしい味だね」と話にも花が咲
きます。

手芸グループや主婦の会の方が
手作りしてくださった景品をめざ
し、金魚すくい・ヨーヨー釣り・的
当てなど盛りだくさん!

ビンゴゲームでの景品も皆様真
剣! 「ビンゴ!」「1違いじゃ!」「お
しいのおー」などなどあつという間
に時間が過ぎていきました。

そして、最後に皆様の軽快な太
鼓の音に合わせ盆踊りを踊って、今
年も笑顔いっぱい・お腹いっぱい
の夏祭りを終えました。

途中、突然の落雷で一時停電のア
クシデントもありましたが、「雷で
夏が始まり、雷で夏が終わる」とも
言われます。まだまだ、暑い日が続
いていますが、そこまで来ている心
地いい季節楽しみに今日も一緒に
大笑いしましょう! (服部 淳子)



美女??が華麗なダンスを披露◎



笑って笑って♪



おいしいのができた♪

夏祭り特集②



8月23日(水) まゆるちよーく

夏祭り会場では「駄菓子」「金魚釣り」「綿菓子」の屋台が並び、太鼓や笛の音が鳴り響きお祭りムード満点です。その中を自由に散策していただきました。

意外にも一番人気は綿菓子でした。「懐かしい」「久しぶりでおいしいね」と、あちらこちらで綿菓子を持って座談会が始まっています。

お祭りの締めは「祭りくじ」と「盆踊り大会」です。『炭坑節』では踊る方と「ほってーほってーまたほってー」の掛け声で参加される方、全員参加で笑顔がいっぱいでした。これで元気満点、今年の暑い夏も乗り切れますね！

(藤澤 聡子)



村長とばしゃり◎



ええのが当たった！！



ほってーほってー♪



いっぱい採れたよ☆

夏祭り特集③



8月10日(水) ショート大町

今年もケアプラザ全体で夏祭りを行いました。職員による開会宣言が終わるとゲームコーナーへ。今年はおぞら保育園の園児さんたちによる輪投げコーナーと、4つのゲームに挑戦していただきました。

はじめは「こんなんよーせん」といつていた方も、やり始めると楽しそうにゲームに興じていました。

ゲームを堪能したら、軽食コーナーへ。ノンアルコールビールや炭酸飲料など普段とは違う飲み物や焼き立てのたこ焼きなどお祭り気分になるような食べ物に「これ何？美味しいね」「久しぶりに食べました」などと嬉しそうに頬張っていました。

お腹いっぱいになった後は、ポラントイアさんたちによる、歌と踊りの出し物です。1曲の予定でしたが、サービスピ精神旺盛なみなさんは4曲も披露してくださいました。

盛り上がったところで番号を書いたうちわを配り、くじ引き大会スタート！5等から特賞までの豪華賞品を狙っていただきます。当たった方はみなさん喜んでおられ、一番当たりの特賞はヘアカットの無料券でした。これで素敵なヘアスタイルにしましょうね♪

そして、楽しい時間はあっという間に過ぎ、閉会宣言。今年も外は暑く、ショート大町も熱い夏祭りとなりました。

(湯藤 和也)



魚だけではなく長靴やバケツもあります☆



わたしはイカがとれたよ◎



夏祭り特集④

つどいの家

つどいの家では、今年も恒例の盆踊りと夏祭りを開催いたしました。地域の方と踊りの輪の中に入り、楽しみにされていたかき氷をいただき、夏の暑さを吹き飛ばして来ました。

そして、夏祭りを午前と午後との部の2部に分けて開催しました。

午前の部では金魚すくい、射的、ポウリングのゲームコーナーと、たこ焼き屋さんの出店回り。午後の部ではスイカ割にビンゴゲームを楽しんでいただきました。

スイカ割では目隠しをして、周りのみなさんからの誘導で、右に行ったり左に行ったり…。苦戦しましたが、みなさんの力で何とか割る事が出来大喜び美味しく召し上がっていただきました。

みなさん絶えず笑顔でしたが、「朝からずーっと食べてばかりでもう食べれん…」「笑いきりでお腹が痛いねえ〜」など、普段見れない顔が見れて、夏の暑さも忘れてしまう一日でした。次回も乞うご期待です!

(若林 二三枝)



うまく割れるかな??



どれをすくおうかね〜♪



狙いを定めて〜

皆さま楽しまれていました(*^-^*)

かき氷
おいしいねえ〜
盆踊り
まだかなー



楽しいお祭りでした♪





おもしろきかな我が人生

あがわ さわこ

作家・エッセイスト 阿川 佐和子 氏

「私と仕事」

平成29年6月30日(金)

会場:リーガロイヤルホテル広島

JOIN広島恒例のチャリティーイベント『心とディナーのタベ』を6月30日リーガロイヤルホテルで開催いたしました。今年の演者をご結婚後間もない阿川佐和子氏でした。生の阿川氏は『サワコの朝』そのままのさわやかで軽やかでウィットに富んだ魅力いっぱいの方でした。講演要旨をお届けします。

撮影: 柵木 功



■子どもの頃

2年前に父が94歳で大往生しました。父は末っ子だったので、父が生まれた時は祖父母は高齢でした。広島で生まれ、わがままいっぱいに育ちました。祖父母も親も原爆には遭いませんでした。

昭和30年、父がロックフェラー財団に留学生として招かれ、当時4歳だった兄と2歳のわたしは広島島の伯父のところへ預けられました。おかげで私は広島弁が上手になりました。子どものいない伯父は優しくかったです。3歳の時、東京に引き戻されましたが、その後も何度も広島に来ています。わたしは大田川で泳ぎを覚ええました。

現在も伯母(108歳)は健在で広島で暮らしています。

■父の話

父は年老いた両親のもと、わがままいっぱいに育てられました。乗り物好きで昭和30年代、日野のルノーを買って得意になっていたそうです。

父は、男尊女卑的な思考が強く、女性は伴侶をみつけるものとし、わたしは周りに仕事をする女性があまりない環境で育ちました。

わたしは本を読むのが好きでなかったのですが、父から「本も読めない人間」といつも言われていました。また、親元を離れられない自分に暗澹(あんとん)たる思いでいました。

■インタビュアーに就くまで

TBSからアシスタントの話をしていただき仕事を始めました。

30歳を過ぎて『ニュース23』に出ることになりました。無能なうなぎき役で、8年間従事しました。その間ベルリンの壁が崩れ、ロシア共産党がなくなるなどワクワクドキドキ、興奮した時代のなかで刺激的な日々を過ごしました。

しかし番組を辞めたいという気持ちが起こりはじめました。申し出る理由がなく辞められずにずるずるしていましたが、スミソニアン博物館のスタッフと出会い、ワシントンDCで1年間暮らすことになりました。

語学は本場に行けばうまくなるというわけではなく、習得はできませんでした。

日本に戻ると週間文春からインタビュアーの仕事をしていただきました。以前はデーブ・スペクター氏が鋭い切り口で、政界から経済界まで白熱した対談で連載を行っていました。

■聴くことの重要性について

ワシントンに行く前、城山三郎氏にインタビュアーをしました。城山氏はかわいE.Tのような印象。『父から息子に与えた30通の手紙』の翻訳者です。この本には重要な教訓が書かれ、妻から夫へ、母から娘へと通底するものがある内容です。

城山氏はわたしに、「いい読者だね」「それから?」「おたくは?」「なん

で?」「そうなの?」「と「ころで?」「この問いかけをしてきました。気がつけばわたしは、自分が高校3年の時に、母が45〜46歳で下の弟を身ごもった話を2時間ほどお話ししていました。

そして、城山氏は「楽しかった」と言ってお帰り行かれました。「なぜ、わたしはあんなに話したのか」と思いました。考えるにそれは、城山さんが聞き上手だったからだとわかったんです。

相手の表情を見ながら、もうひとつE.P.ビソードを思い出させるような話し方が大切だと感じたんです。

わたしは、スポーツも音楽も政治も、どのジャンルも専門がありません。そうであれば、ただただ相手が話したくなるようなインタビュアーに徹しようとして生きてきました。

そうして25年が過ぎました。すると出版社から「インタビュアー本を出版しましょう」と話が来りました。それが『聴く力』です。聴くという技の磨き方の本です。考えてみると弁護士、税理士、どんな職業も「聴く」ことがポイントであると感しています。



(次のページへ)

(前ページより)

よく聴くことは具体的に、

① 相づち「はいはい、ほうほう」などの合いの手

② オウム返し(聴いていると相手に伝える)

③ リズム
ではないかと思えます。

日本人は、「大した話ではない」と相手の反応を常に気にする傾向があります。「聴くこと」は、実は常に人の話を聴いていないことが多いです。

祖母もよく言います。「けんかになるのは、互いに何も聴いていないから」本気で聴いたらくたくたになるが、時々、本気で聴いてみようとしてみたらどうなるか考えました。

中学高校の時、教員からお説教されました。「人の気持ちは他人にはたやすくわかるものではない」とわからなければ、この悲しみ具合は、何に似ているのかを想像してみようと考えついたので。

人の顔、仕草をみて、疑問を感じたことを聴いてみるんです。「探っていく」ことが大事なのではないかと思えます。

さて、なぜ自分がこの分野で生き残っているのがわからない。

遠藤周作氏がよく父のところに来られていましたが、当時高校生

だったわたしは遠藤氏が小説家だったことを知りませんでした。

わたしは遠藤氏の隣に座って面白い話を聴いていました。遠藤氏は劇団「樹座」を主宰していました。そこでスターになれるのは、一番下手な人だそうで「有能な人間が主役をはるのではなく、そうではない人間がすることによって生き生きしてることがある」とおっしゃっていました。

また「僕が話した、この何の役にもたないことの中に素晴らしい宝物を見つけれられる読者と、できない読者がいるだろう」ともおっしゃっていました。その言葉が今夜皆様にも伝えてこの講演もお開きに。

講演終了後、バリトン歌手の山岸玲音さんが阿川さんの結婚のお祝いと中島みゆきさんの「糸」をアカペラで歌ってくださいました。阿川さんも一緒に口ずさみながら温かい雰囲気の中で講演会を終えました。



作品介绍

デイ大町

ブローチ作り

デイ大町では今回「しじみの貝殻」を使用して「お花のブローチ」を作りました。細かいところを裁縫するので少し難しかったですが、手先上手の皆様は見事に素敵なブローチを完成させていらっしゃいました。「毎日着けてもいいね」「私はカバンに着けようかね」と、出来上がりの感想にも花が咲きいていました。これからも一緒に素敵な作品を作りましょう♪

素敵な作品が
できました♪



素敵なブローチの完成！！



みなさんお似合いです(*^_^*)

器用にやるのお～◎





しゅりあちよーく

くにまさ としえ
 國政 トシエ さん(94)
 【相撲と手芸】

國政さんの相撲好きは随分昔からなるそうです。双葉山から始まり、若花田・貴花田を応援し、今は豪栄道が大好き！
 どことが魅力的なのかお聞きすると「勝っても負けてもあの何とも言えない、かわいらしい顔が好きなんよ」と、それは嬉しそうに話されました。
 相撲が始まると、幕下の取り組みからずっとテレビの前で応援される毎日。「ご家族も相撲の時間になるとチャンネルを合わせ一緒に応援されているそうです。それだけに、相撲の時期が終わると、しゅんとさみしそうな姿がかわいそうだと、ご家族が話されています。
 そしてもう一つ、お好きなのは「手芸」。職員が口をそろえ「とにかく手早く、縫い目も綺麗で見とれてしまいます」と。
 結婚されるまでは呉服店に住み込んで和裁の腕を磨き、ご自分の花嫁衣装も縫われたそうです。結婚してしばらく縫物から離れてしまいました。しゅりあでまた針を持つことになり、楽しくて仕方ないそうです。

ちりめんのブローチ・お雛様・花布巾と増えてきた作品は、ご自宅に飾られご本人はもとより、ご家族・お孫さん・ひ孫さんの目を楽ませているそうです。これからも、色んな作品をたくさん作って楽しんでください。(中谷 百合子)



どんなのができるかの～♪



なんでも作れる魔法の手☆☆



医療法人あすかの関連施設

緑井3丁目 20・1

あすか居宅介護支援事業所

082-830-5177

リハビリデイ・ポシブルみどりい

あすか病児保育室

児童デイサービス ぱるみどりい

緑井2丁目 12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター

まやるちよーく

通所リハビリテーション ショートステイ すてっぴ

小規模多機能型居宅介護事業所

つどいの家

緑井3丁目 10・28

児童デイサービス

ぱるびしゃもん

緑井2丁目 9・31・102

児童デイサービス ぱるひよし

毘沙門台東1丁目 24・16

デイサービスセンター

しゅりあちよーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目 40・30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

通所リハビリテーション 野の花

あすかケアプラザ 中須1丁目 26・12

ヘルパーステーション あすか大町

デイサービスセンター

あすか大町

ショートステイ あすか大町

サービス付き高齢者向け住宅

レジデンスあすか

あすか訪問看護ステーション

緑井2丁目 11・11・102

“ニューズレターあすか”は
 当法人のホームページ上でも見ることができます
 全編カラーで掲載しておりますのでぜひご覧ください
<http://www.asuka-net.or.jp>



医療法人あすか

Mail: asuka@smail.plala.or.jp

〒731-0103 広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL: 082-879-3143 FAX: 082-879-3190

(編集: 田中 莉央)

【編集者のつぶやき】

今月号より編集担当になりました田中と申します。高橋内科小児科の事務3年目になります。憧れの新宅先輩から引き継ぎました。事務ナンバワン不器用と言われている田中はこの仕事が務まるのか...とても不安ですが、新宅先輩に教わったことを生かして、ニューズレターに新しい風を吹かせられるよう頑張りますので暖かく見守ってください。さてさて、2017年夏も終わり。季節の変わり目は毎年体調を崩してしまいます。よく食べてよく寝てよく食べて...食欲の秋を楽しみますよ。